

○：「整理した答弁をしろ！」。7日、米子市議会の質問戦が紛糾する一幕があった。市発注の道路工事を巡る贈収賄事件に絡み、執行部が「回答を控える」との答弁を繰り返したためだ。議場は、議員や傍聴者のヤジに包まれた。

○：問題となつたのは、建設業者から商品券を受け取ったとして有罪判決を受けた元市幹部が、懲戒免職処分を異議を申し立てて市に提出した資料の内容を巡る答弁。元幹部は、金品を受け取った人物を一覧にした資料を出したという。

○：リストに市職員の名があるとの答弁を引き出した土光均議員（希望）が、議員の名前があったかを問うと、菅原朗総務部長は「個人が特

米子市発注工事の贈収賄事件 市議会質問戦が紛糾

定される恐れがある」と回答。「議員についてはなぜ答えられないのか」と追及され、「市職員は全体の奉仕者であり、市長が任命権者として、市の職員を調べたということ」と苦しい答弁に終始した。

○：「理由になっていない。隠蔽ではないか」と土光議員が食い下がり、「ちゃんと整理した答弁をしroyよ！ 執行部の責任だろう」と他会派の議員がヤジを飛ばすと、傍聴席からは拍手が湧いた。結局、野坂康夫市長も同様の答えを返すばかりだった。傍聴した市内の主婦(69)は「名前があったから言えないんだなど感じた。問題にきちんと立ち向かう姿勢がない」とあきれ顔だった。

(陰山篤志)